感染症対策
ポケットガイド

みんなで考えよう！

避難所で気をつけること

はじめに

令和元年の東日本台風では、想定を超える市民の皆様が避難され、一部の避難所で混乱が生じ、「風水害時には職員対応が基本」という従来のルールが通用しない状況が発生しました。

避難所運営会議や自主防災組織の皆様からは、「もっと早く、依頼してくれれば手伝えるのに」「役所が出来る範囲を超えているし、地域の力を信頼していないのか」といったお叱りや御提案をいただき、今後の大型台風来襲等では、自主防災組織や地域の皆様への協力要請も視野に、弾力的な避難所運営を考えておりました。

そのような中で、新型コロナウイルスによる感染が蔓延し、簡単に「避難所運営を手伝って」と言って良いものかどうか、感染症対策が100%ではない状況では踏み切れないジレンマを抱えておりました。それでも研修や訓練の場で、皆様から「手伝えることは手伝う」という後押しもいただき、万全な対策はない状況ではございますが、リスクを明示することで、風水害時に限らず、また、新型コロナウイルス感染症以外の感染症にも通じる避難所運営について、皆様と一緒に考えていただけるような感染症対策ポケットガイドの作成に至りました。

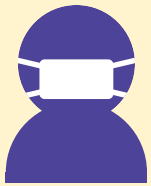
最後に、この冊子作成にあたり川崎市自主防災組織連絡協議会をはじめ、撮影場所として全面提供をいただきました川崎市立旭町小学校など、多くの皆様の御協力に感謝を申し上げます。

川崎市総務企画局危機管理監

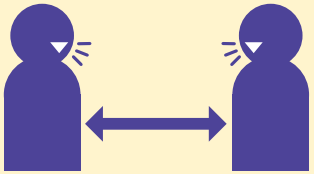
感染症対策の基本

こまめに
手洗いをする

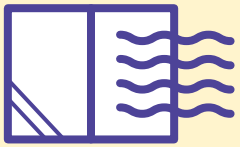
マスクを着用する



距離を保って
会話を控える



定期的に換気をする



もくじ

開設前の準備

1 避難所への集合 …… 3
2 避難所運営前のミーティング …… 5
3 備蓄倉庫等からの資器材の運び出し …… 7
4 動線や使用場所の準備 …… 9

避難所の開設

5 避難者の受け入れ …… 11
6 専用スペースへの案内 …… 13

避難所の運営

7 A・Bゾーン内での巡回 …… 15
8 C・Dゾーン内での巡回 …… 17
9 避難者への情報提供・周知 …… 19

避難所の閉鎖

10 避難者の帰宅の準備 …… 21
11 避難所の清掃等 …… 23
12 避難所運営の終了・帰宅 …… 25

ポンチョ（防護衣）の着用例 …… 27
ポンチョ（防護衣）の脱ぎ方 …… 28
手袋の脱ぎ方 …… 29
情報入手メモ …… 30

※各ページにMEMO欄を設け、各避難所の状況に応じた対応策を考案・実施していただけるような冊子になっています。

1 避難所への集合

感染リスク

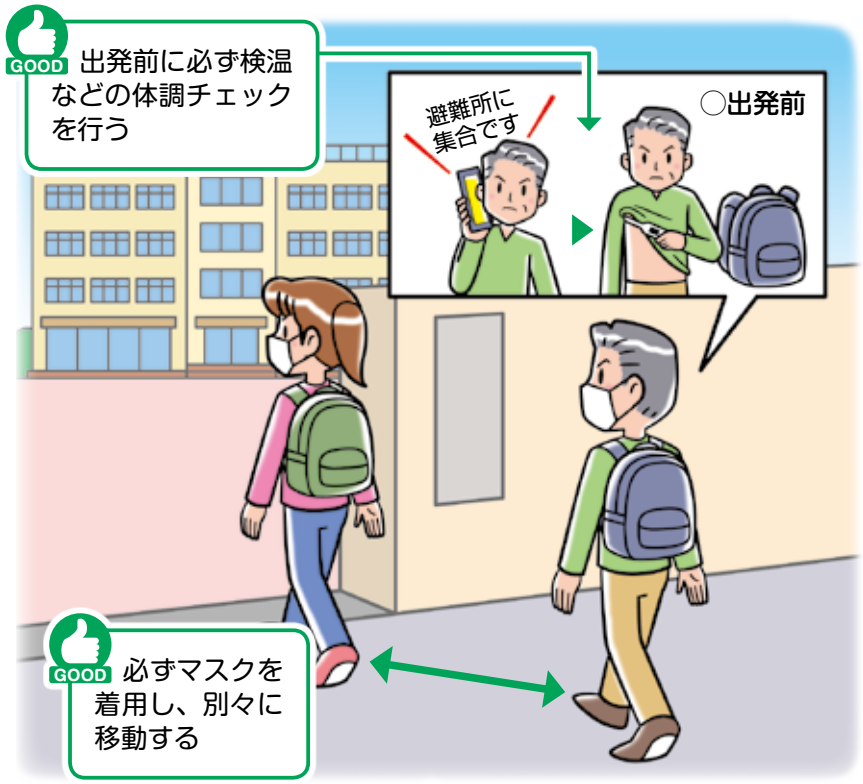
MEMO 持ち物をチェック

2 避難所運営前のミーティング

活動内容

避難所運営に向け、各自の移動手段（自家用車を除く）により自宅を出発します。

感染リスクを低くするためのポイント



家を出る前の体調チェックリスト

- ☐ 発熱、咳、下痢、嘔吐、発疹の症状がない
- ☐ 息苦しさ、だるさ、味覚がおかしいなどの症状がない
- ☐ 体温 _____℃（目安は37.5℃以下）
- ☐ 避難所運営に携わる時間に見合う飲食は持った

感染リスク

- ✕大人数で集まって話し合っている
- ✕マスクを正しく着用していない人がいる

MEMO 参加者の名前やミーティングの内容

活動内容

避難所運営に向けた打合せを行い、方針や役割分担を決定します。

感染リスクを低くするためのポイント

3 備蓄倉庫等からの資器材の運び出し

感染リスク

✕大声で指示する
✕大人数で密集して作業する
✕長時間同じ場所で作業する

MEMO 備蓄倉庫の感染症対策物品リスト

備蓄倉庫には、右に記載の感染症対策物品が入っているので、保管場所や数量などを確認し、短時間で運び出せるようにする。

- □ 非接触型体温計 _____
- □ 手指用消毒液 _____
- □ 施設用消毒液 _____
- □ マスク _____

活動内容

避難所運営にあたっての必要物品の運び出しを行います。

感染リスクを低くするためのポイント

GOOD 作業人数を制限し、短時間で終了する（屋外はリスクが低い）

GOOD ジェスチャーなどで指示し、会話は最小限に控える

GOOD 扉を開放するなどの換気を行う

GOOD 倉庫内は日頃から整理する

- ☐ ニトリル手袋 _____
- ☐ ハンドソープ _____
- ☐ フェイスシールド _____
- ☐ ポンチョ（防護衣） _____
- ☐ ペーパータオル _____
- ☐ 厚手ペーパータオル（清掃用） _____
- ☐ テント _____
- ☐ 簡易ベッド _____
- ☐ おう吐物処理キット _____

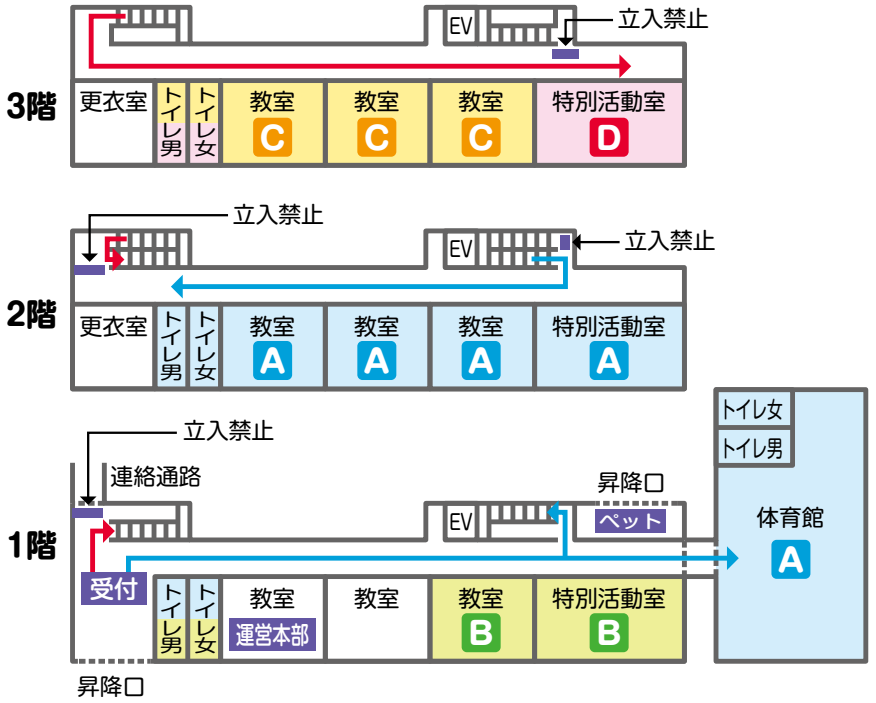
4 動線や使用場所の準備

感染リスクを低くするためのポイント

症状に応じた専用スペースを決定し、動線を設定する。

- A 体調良好者
- B 特に配慮が必要な方（介護・介助が必要な人、妊婦・乳幼児がいる人）
- C 発熱・体調不良者（発熱・風邪などの症状がある人）
- D 濃厚接触者等（新型コロナウイルス感染症の健康観察の対象、過去14日以内に海外から帰国した人）

設定例



5 避難者の受け入れ

活動内容

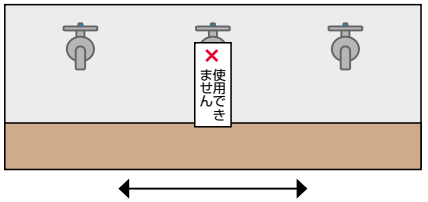
避難者の行動を予測して、感染症対策に配慮した配置を心がけます。

注意例

▶水道を分ける

AとBとCとDが同じ場所で交わらないように設定する。

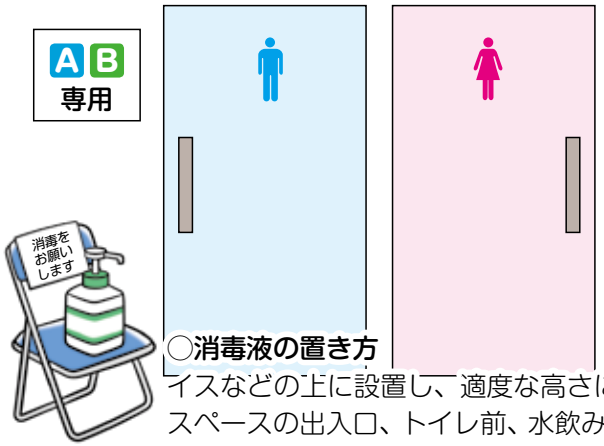
○水道の分け方の例



使う人が1～2m離れるようにする。

▶トイレを分ける

AとBが、CとDが、できるだけ同じ場所を使わないようにする。

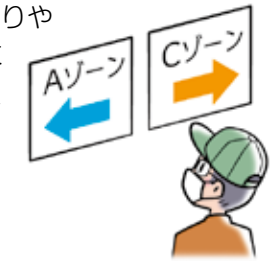


○消毒液の置き方

イスなどの上に設置し、適度な高さにする。受付、避難スペースの出入口、トイレ前、水飲み場などに配置する。

▶案内板の掲示

避難者に分かりやすく、動線に沿って細かく表示する。



○他の掲示物の例

ソーシャルディスタンスの床表示

感染リスク

- ✕大声で案内している
- ✕受付前に人が密集している
- ✕避難者にマスクを正しく着用していない人がいる
- ✕避難者が話し込んでいる

MEMO 受付に用意するもの

- □ 手指用消毒液
- □ 非接触型体温計
- □ マスク
- □ 健康チェックリスト
  （なるべく見えやすい位置に大きく掲示）

6 専用スペースへの案内

活動内容

避難してきた人を受付け、症状等により専用スペースへ案内します。

感染リスクを低くするためのポイント

○受付担当者の感染症対策

マスク、フェイスシールド、ニトリル手袋を着用する。

感染リスク

感染リスク番外編

立入禁止エリアへの侵入や不要な移動をしないように呼びかけましょう。

活動内容

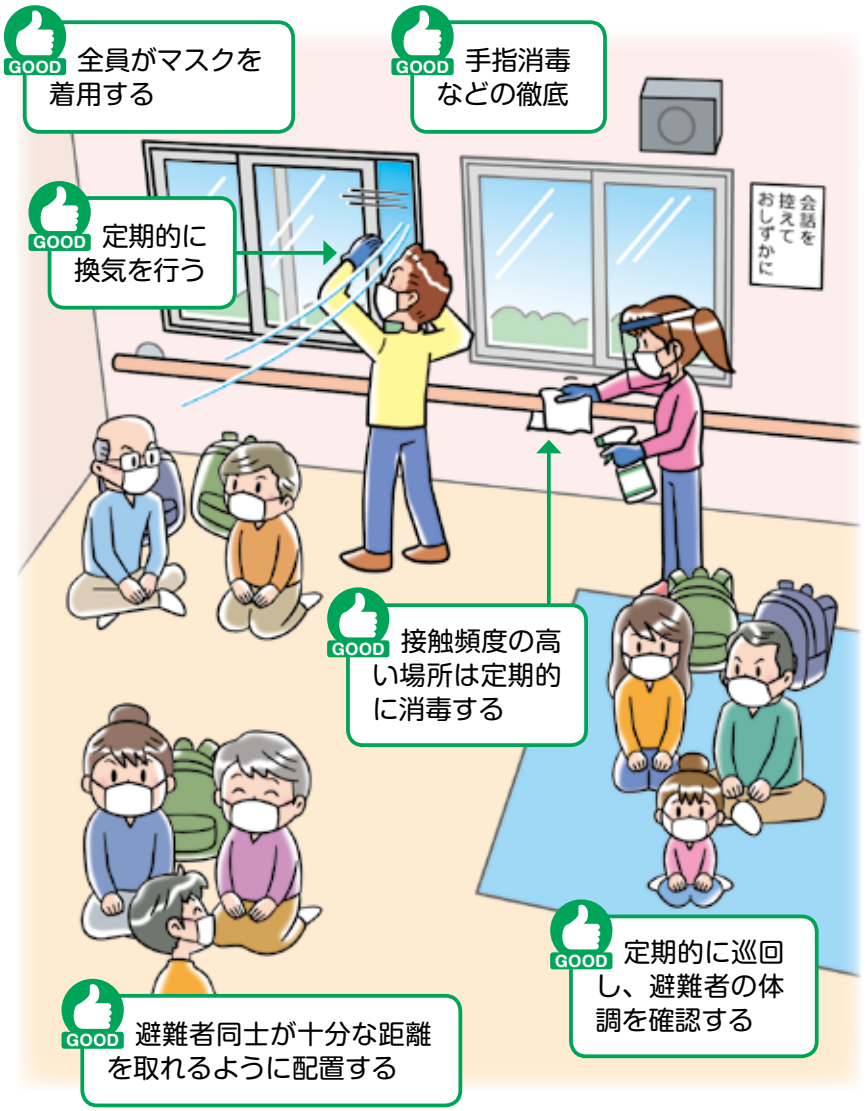
体調に応じた専用スペースへの的確な誘導により、感染リスク軽減を目指します。

感染リスクを低くするためのポイント

MEMO

7 A・Bゾーン内での巡回

感染リスクを低くするためのポイント



活動内容

体調良好が確認されたスペースを念頭に、会話等の制限などへの協力を依頼します。

こんなときは？

▶長時間マスクを外して会話をしている人を見かけたとき

対応に困ったときは職員に相談してください。

▶お酒を飲んだり、たばこを吸っている人を見かけたとき

避難所は、禁酒・禁煙です。職員に報告してください。

▶家にあるテントを使っていいかと言われたとき

あまりに広いテントは周りの避難者の迷惑にもなりますが、小さいものであれば使用可能です。

▶体調が悪くなったと言われたとき

すぐに、近くにいる職員に相談してください。体調に応じたスペースに移動していただくことがあります。

※その他、対応や回答に困ったときは、職員に相談してください。

MEMO

8 C・Dゾーン内での巡回

感染リスクを低くするためのポイント

GOOD 巡回する人はマスク・フェイスシールド・ニトリル手袋・ポンチョ（防護衣）を着用する

GOOD こまめに換気を行う

GOOD 定期的（8時間目安）に巡回し、体調等を記録する

活動内容

体調不良もしくは経過観察者の体調の変化に最大限に注意します。

こんなときは？

▶同居家族で付き添い希望があったとき

十分にリスク等を説明した上で、テント等を使用するなど、できるだけリスクを下げる配慮をし、必要な感染防護品を提供した上で、専用スペースに入ってもらって構いません。

ただし、それ以後、付き添いされた人はAゾーンの人とBゾーンの人と分かれて行動するように十分な話し合いを持ってください。

▶避難者の体調が悪化したとき、または訴えがあったとき

原則、職員へ状況を伝えて対応してもらってください。その余裕がない程具合が悪い場合は、避難者に救急車を呼ぶと伝えた上で、119番してください。

通報後は、体調の悪い避難者の様子を見守ってください。

MEMO

9 避難者への情報提供・周知

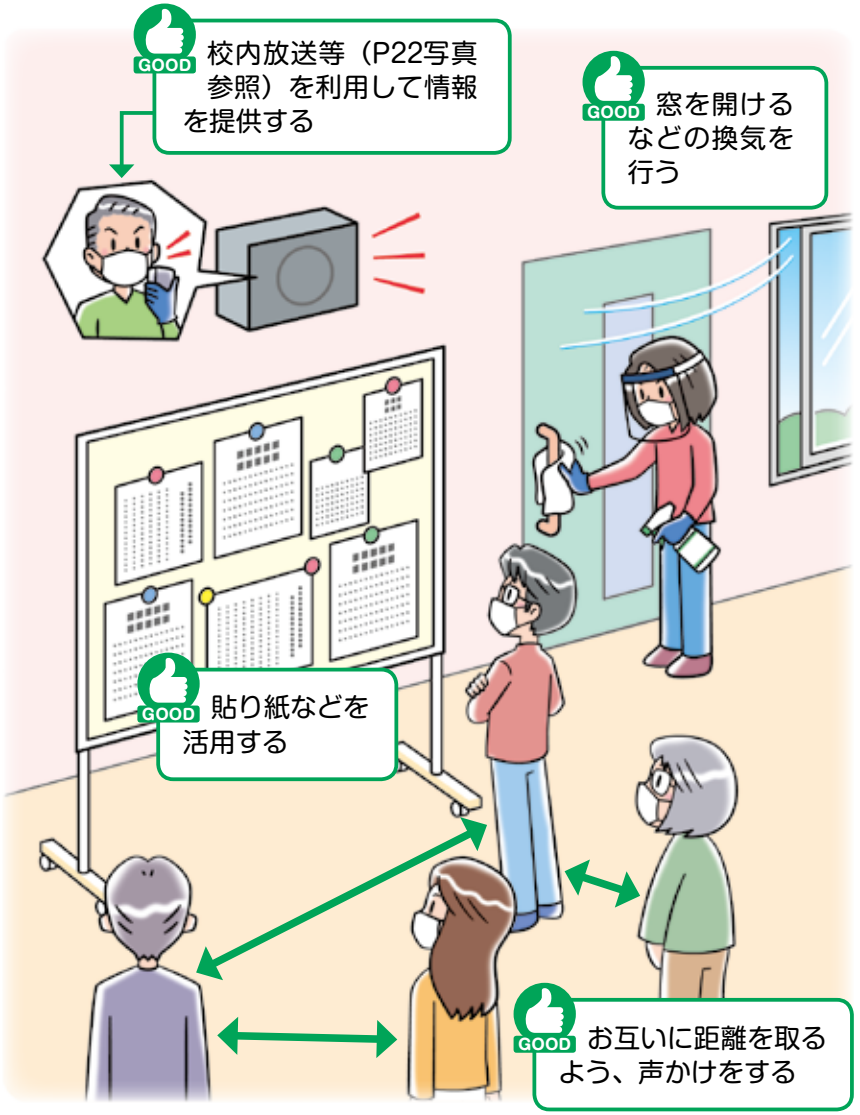
感染リスク

MEMO

活動内容

天候や被害の状況、本部からの情報、配給等を周知します。

感染リスクを低くするためのポイント



避難所の運営

10 避難者の帰宅の準備

感染リスクを低くするためのポイント

○こうならないために

活動内容

情報等を確認し、避難の必要がなくなる前には帰宅のルールをアナウンスもしくは貼り紙等で周知します。

こう呼びかけよう

「避難されている皆様に連絡します」

「帰宅する際は、会話を控え、密集しないように帰宅しましょう」

「ごみは各自で持ち帰りましょう」

「帰宅する順番は、C、B、A、Dゾーンの順番で帰宅してください」

「では、Cゾーンの方から帰宅してください」

「Bゾーンの方帰宅してください」

「Aゾーンの方帰宅してください」

「Aゾーンで帰宅する方の中で、避難所の掃除を手伝っていただける方は、学校内の○○○へ集まってください」

MEMO

避難所の閉鎖

11 避難所の清掃等

感染リスクを低くするためのポイント

窓を開けて換気を十分に行い、施設用消毒液で拭きます。

○A・Bゾーンの清掃（マスク・フェイスシールド・ニトリル手袋を着用）

○C・Dゾーンとトイレの清掃
（マスク・フェイスシールド・ニトリル手袋・ポンチョ（防護衣）を着用）

活動内容

よく触る箇所を中心に、消毒液等で拭き取り清掃を実施します。ごみの集め方にも注意が必要になります。

掃除のポイント

- 避難所運営中も、手すりやトイレ等のよく触れる場所をこまめに消毒、清掃しましょう。
- 床は消毒ではなく、清掃していただくだけで十分です。しかし、おう吐物等があれば、消毒が必要になります。
- 避難所は、子どもたちの学び舎である学校を使用しています。避難所を閉鎖するときも、避難者と協力して、使った場所の掃除や後片付けを行ってから帰宅しましょう。

○ごみの集め方

1. 手袋をしてごみを集めましょう。
2. 中の空気が洩れないようにごみ袋をきつく縛り、一般ごみとして捨てましょう。
3. 避難所で使用したポンチョ（防護衣）等（P27参照）は、避難所で出たごみと一緒にして、残さず全て捨ましょう。

MEMO

12 避難所運営の終了・帰宅

感染リスク

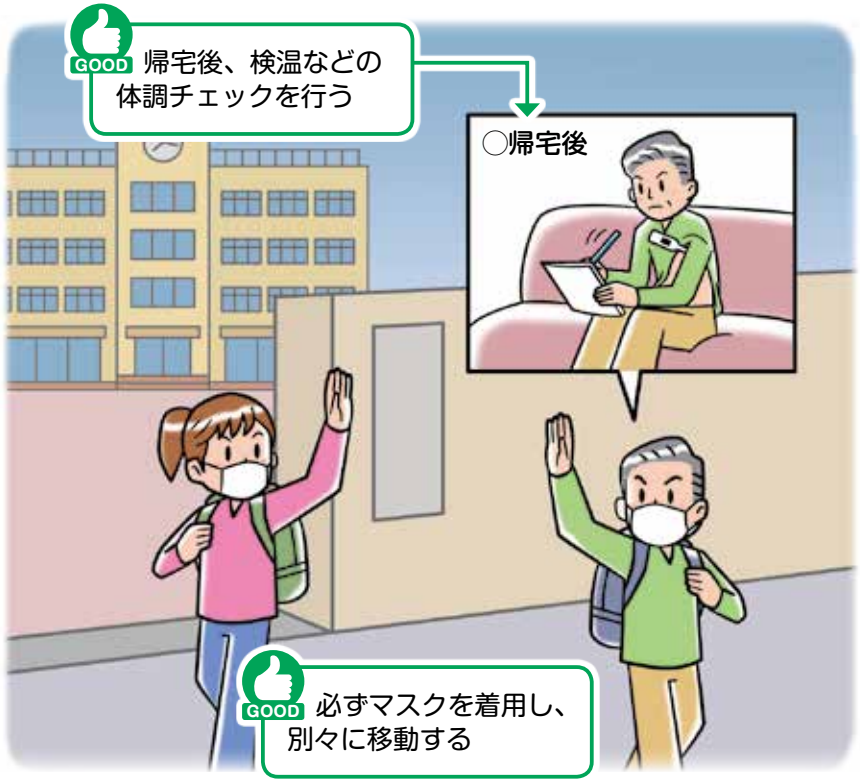
MEMO **家に帰ってからの体調チェックポイント（1週間程度）**

- □ 体温 _____℃
- □ 避難所で行った行動をメモする
- □ 1週間程度は、会った人や行った場所を簡単にメモする

活動内容

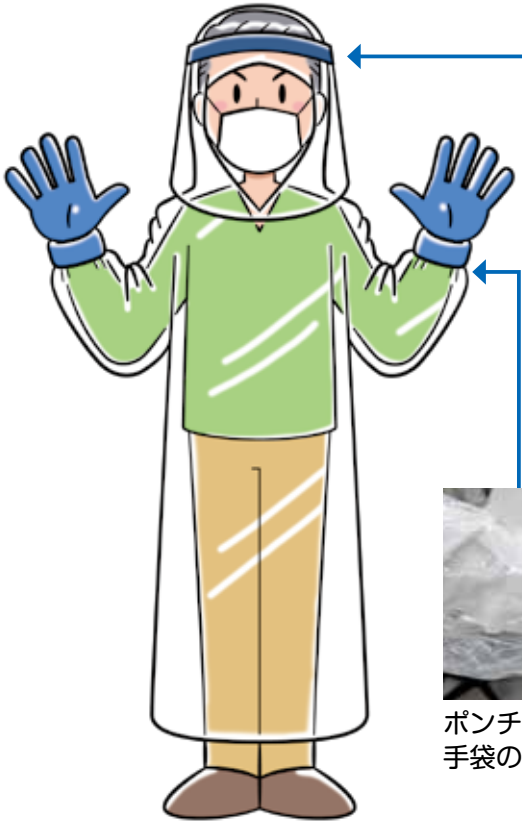
施設管理者（学校）と調整・確認後、各自帰宅します。

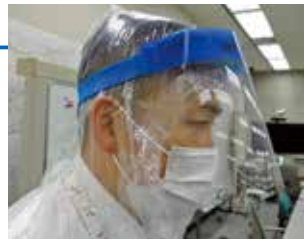
感染リスクを低くするためのポイント



ポンチョ（防護衣）の着用例

C・Dゾーン内での巡回等のときは、マスク・フェイスシールド・ニトリル手袋・ポンチョ（防護衣）を着用する。





ポンチョ（防護衣）のフードの上からフェイスシールドをつける

ポンチョ（防護衣）の袖は必ず手袋の中に入れる

着用時のポイント

- 季節によっては、ポンチョ（防護衣）を着ているととても暑いため、短時間での交代やこまめな水分補給に気を付けましょう。
- 手袋の上からでも、こまめに手指を消毒しましょう。

ポンチョ（防護衣）の脱ぎ方

ポンチョ（防護衣）の外側に触れないように注意し、脱衣後は廃棄する。

脱ぐ前に手指の消毒を行う。

フェイスガードから外す。

ポンチョ（防護衣）の肩付近を両手でつかみ、引っ張り上げるように首から脱ぐ。

ポンチョ（防護衣）の外側が中になるように丸めながら脱ぎ、手元に集める。

丸めたポンチョ（防護衣）と一緒に右（左）手の親指で左（右）手袋を抑えながら脱ぐ。

同じ方法で残りの手袋を脱ぐ。

手袋の脱ぎ方

手袋の外側に触れないように注意し、脱衣後は廃棄する。

脱ぐ前に手指の消毒を行う。

右（左）手で左（右）手の手のひらをつまむ。

手袋の外側が中になるように引っぱり外す。

左（右）手の人差し指を右（左）手のひらに沿わせて手袋の中に入れる。

中に入れた指で手袋を返しながら脱ぐ。

情報入手メモ

各種防災冊子やマップ、風水害への備えに関する情報をまとめたページを用意しています！

川崎市ホームページから 台風や大雨に備えよう 検索

メールニュースかわさき

登録したメールアドレスに川崎市の防災、気象、災害などの情報を配信します。希望する方は下記アドレスまで空メールを送信してください。

○パソコン・スマートフォンから　mailnews@k-mail.city.kawasaki.jp
○携帯電話から　mailnews-m@k-mail.city.kawasaki.jp

川崎市危機管理室ツイッター

川崎市の防災、気象、災害などに関する情報をツイートします。ご利用を希望する方は下記アカウントをフォローしてください。

@kawasaki_bousai

地上デジタル放送・ケーブルテレビ

テレビ神奈川（3ch）、YOUテレビ、iTSCOM、J:COMのデータ放送を利用して、川崎市の防災気象情報を配信します。

かわさきFM（79.1MHz）

川崎市からの緊急情報や安否情報、ライフライン等の生活情報を放送します。

お問合せ

○川崎市役所	危機管理室	☎044-200-3139
○川崎区役所	危機管理担当	☎044-201-3327
○幸区役所	危機管理担当	☎044-556-6610
○中原区役所	危機管理担当	☎044-744-3141
○高津区役所	危機管理担当	☎044-861-3148
○宮前区役所	危機管理担当	☎044-856-3114
○多摩区役所	危機管理担当	☎044-935-3146
○麻生区役所	危機管理担当	☎044-965-5232

明るい未来に向けて！

写真提供：かわさきジャズ実行委員会

Colors, Future!
いろいろって、未来。
川崎市

写真提供：川崎・しんゆり芸術祭実行委員会

今、私たちがやるべきこと

感染を防ぐのは そばにいる人への“優しさ”です

ウイルスを打ち負かすのは、人と人が優しい気持ちで互いを思いやる社会をつくることです。
正しい情報を共有し、お互いを「感染させない」ことに十分配慮することが、安心できる日常への近道です。

令和3年1月発行
【発行元】川崎市総務企画局危機管理室
【協力】川崎市自主防災組織連絡協議会・川崎市立旭町小学校